

【生徒指導主事の話】

1学期、みなさんは様々なことによく頑張りました。4月、校長先生がお話しされた「1cmの主体性」の話を覚えていますか？1学期は、いろいろな場面でみなさんの「1cmの主体性」の姿を見ることができました。特に明るく元気なあいさつ、美しい教室環境など、1学期の大きなみなさんの主体性だったと思います。財産としてこれからも継続して行ってください。

さて、明日からの長い夏休み、1学期がんばった成果を生かしながら生活をしていってほしいと思いますが、みなさんに意識してほしいことがあります。それは、場面場面で正しい「判断」をしてほしいということです。この正しい判断をすることには2つの種類があります。1つは「絶対に正しい判断をしなければいけない」こと。2つめは「正しい判断をするとよい」ことです。

1つめの「絶対に正しい判断をしなければいけない」ことに関わり、「命」にかかわること、「法」や「ルール」に触れることについては、絶対に正しい判断をしなくてははいけません。例えば、交通ルールを守る、事件、犯罪に巻き込まれるようなことはしない、SNSなどでのモラルを守る、絶対に自分で自分の命を絶たないなどです。これらについては、絶対に正しい判断をしてください。

2つめの「正しい判断をするとよい」については、「心の中にいる弱い自分に克つ」ということです。長い夏休みの間には、どんな子も「心の中の弱い自分」が顔を出します。具体的に言うと「もうちょっとゲームをしても…。」「夜中まで起きていても…。」「ちょっとくらいなら…。」といったことです。そんな弱さが自分に出てきたときには、ぜひ正しい判断をしようと努力してみてください。時には、弱さに負けてしまうこともあるかもしれませんが、しかし、次は正しい判断をしようと思ってください。誰かに叱られるからとか、誰かに強制されるからとかではなく、自分自身でどのようにでも判断ができる状況で、正しい判断をすることができるからこそ、今のみなさんに、ぜひともこの夏休みに身につけてほしい力だと先生は思っています。

ぜひ「心の中にいる弱い自分に克つ」ことに挑戦してほしいと思っています。

夏休み明け、さわやかに、そして元気に会いましょう。